

生駒市文化財保護審議会会議録 要点筆記

1 開催日時 平成25年4月19日（金）午後2時～5時

2 開催場所 コミュニティセンター206会議室

3 出席者 （委員） 今木会長 藤澤副会長 谷山委員 中谷委員 吉川委員
（事務局） 川口生涯学習部長 西野生涯学習課長 錦生涯学習課長補佐
伊田係員 浅井係員
展示設計業者

4 会議の公開・非公開 公開 傍聴人 なし

5 議事

会長あいさつ

会議録の承認

- (1) 改修工事の進捗について
- (2) 展示設計案について
- (3) 開館記念シンポジウム「生駒の歴史と文化をさぐるⅢ」仮題「祈りと生駒山」について
- (4) 生駒ふるさとミュージアム指定管理者の指定について
- (5) 平成24年度事業報告及び平成25年度事業計画
- (6) その他

6 審議内容

- (1) 改修工事の進捗について

事務局 進捗状況説明

全委員 質問なし

- (2) 展示設計案について

業者 展示設計等説明

事務局 展示設計等補足説明

中谷委員 乙田の芸能の展示については、どうなるのか。

事務局 芸能については、展示ケースの中での展示を考えていますが、これからピックアップして、何をどのように展示していくかを考えていく予定です。

吉川委員 Cの展示ケースは、芸能関係になるのか。

事務局 浄瑠璃の人形等は、温湿度が設定できる場所が良いと思い申し上げました。

- 吉川委員 資料の展示物の内容と図面の方の展示案では、だいぶ違うように思うが、どのように考えたら良いのか。展示物の写真は、かなり地味なものが多くて、展示の原稿・解説とどう組み合わせたら良いのかが、よく分からない。
- 事務局 図面の展示室は、展示業者で作成していただいています。内容はこれから検討していこうと思っています。
- 吉川委員 これから展示について考えていく時に必要なことのひとつとして、レプリカ制作代はいくらかかるのか。確かに、土器は展示すると動かさなくても良いから楽だと思いが、新たに生駒の歴史など様々なものを模型でも良いので展示する必要があると思う。その場合、どうしても制作代が必要になってくると思うが、その費用はあるのか。
- 事務局 備品関係の予算要求をしている段階で、その経費の中で執行状況を見ながら検討していきたいと思います。
- 吉川委員 もうひとつ同じようなことにはなるが、Eの史料閲覧について、引き出し展示と書いてあるが、これは古文書の展示を考えているのか。
- 事務局 収蔵している資料がありますので、そのあたりで対応したいと考えています。
- 吉川委員 文書の資料の劣化ということをどの程度見積もるかによると思うが、箆笥での展示というのを聞いたことがないので、どの程度中身を入れ替えるのか。あるいは、箆笥なら子ども達は開けて見ると思うが、そうすると振動が起こり、古文書の保存を考えた場合に、大丈夫なのかという不安が残る。できればここもレプリカの方が良いように思う。
- 業者 先生の言うことは、最もだと思いますが、今回は全体の予算が平米数に対して大分低いため、この造作でいっぱい状況です。今の提案内容も予算をオーバーしているので、内容を変えずに、もう少しつめていくという課題が残っています。資料の保存の考え方からいうと、レプリカの方が本当は良いと思いますが、予算をかけないで、どういうやり方があるのか考えることが課題だと思います。実際写真をスキャニングして、それを精密に複製する会社に依頼するまでの予算は、今の予算内では難しいので、先ほど言われていた備品等の中で入札減が出れば、その中で少しずつ作成していく方法が良いのではないかと思います。
- 今木会長 予算的に、展示の予算と複製等の予算を別途と考えて、提案することは考えられるのか。
- 事務局 一般市民の方に基金という形で、市民参加の形を進めています。資料館の運営に基金を有効的に活用していこうという前提です。オープン当初は、施設設備の方にかなり経費がかかりますので、その経費はある程度の予算をみています。運営が始まりますと、市民の方のご意見を伺いながら、基金を有効的に活用していきたいと思っています。現在の基金は約100万円集まっている状況で、オープン当初は難しい面があると思いますが、この活用をすすめていきたいと思っています。
- 今木会長 先程話していたレプリカの費用は、どれくらいかかるのか。
- 業者 行基墓誌だけですと、120万円くらいになると思います。小さいものなので、取扱が難しいのと、最終的には着色仕上げも出てくると思います。古文書などは、別で見積もりしてみないと分かりません。

- 吉川委員 古文書のレプリカを作った経験はあるが、安くて1点2、30万円かかる。また、地図類はもっと大きくなるしカラーになるので、さらに費用がかかる。できるだけ市の方から予算的裏づけをしていただかないといけない。
- 今木会長 確かに原本をそのような形で入れておくのは、保存のことを考えてもどうかと思う。
- 業者 先程説明が足りませんでした。引き出しを開けてもオープンになっているわけではありません。アクリルカバーで覆われていて、施錠もできる状態なので、一般のお客様が、中の資料を触ることはできません。ただ、先程吉川先生が言われたように、引き出すときに子供だと乱暴になることも考えられるので、原本よりはレプリカ的なの方が望ましいということは、ご指摘通りだと思います。ただ資料に関しては、1点2、30万円かかるのが普通の考え方ですが、内容が読めることが目的ですので、当初はコピーにしておいて、オープンして徐々に更新していくという考え方でも良いと思います。
- 業者 模型を見ていただきたいのですが、印象はいかがでしょうか。目の見えない方に触っていただくというのを基本にするか、もしくは視覚的に地形の立体感を見ていただくようにするか、大きな二つの選択肢があると思います。その方向性だけでもお伺いできればと思うのですが。サイズは一般的に1万5000分の1くらいの大きさです。50メートルピッチの標高データなので、小さくする方が密度は上がってきます。
- 今木会長 大きくなれば（2倍になれば）、費用も倍になるのか。
- 業者 面積は4倍になるので、単純に倍になるとは言えないです。模型の目的をどうするかによると思います。選択肢の一つですが、床に4000分の1（4メートル×3メートルの大きさ）の地図がきますので、模型は、立体感に特化した展示アイテムにするというのがあります。
- 中谷委員 着色はしないのか。
- 業者 着色はしないです。樹脂（ケミカル重曹）の木材で、地色の単色になります。
- 吉川委員 この模型を置くコンセプトは何か。
- 業者 生駒は山塊が修験道の内であったというのがありますし、山並みの中に人々の暮らしが共存しているというのがポイントになるかと思っていましたので、平面的な写真だけよりも立体的な感覚を再認識してもらうことも必要かと思いました。今、パースには入れているのですが、床には大きな航空写真と壁面に東大阪の方から見た生駒山脈から信貴山にいたる山並みの写真があり、その手前にこの立体模型があるというかたちで、いろんなアプローチの仕方で理解を深めていただけたらと思っています。また、正面のグラフィックは川や街道の地勢的な表現をすることによって、自然と人々の歴史が一体になってきた生駒を総合的に理解していただけるコーナーとしています。
- 谷山委員 生駒駅で降りてここへ来るまで大体の地形が分かるが、そうではなくて、目の不自由な方が来られたときにも、生駒がどういう場所なのか分かることも大事であると思う。
- 業者 展示の勉強会で大阪の国立民族学博物館に広瀬先生がおられまして、その先生は目の見えない先生ですが、熱心にユニバーサルミュージアムということで障がい者の方にとっても理解できる展示に取り組みられています。去年4月にも民博に新コーナーが出来たりしていて、その刺激も受けながら提案させていただいています。逆に言うと、健常者の方にとっても五感を使って理解するということにつながるとと思います。手触

り感などで、地形に対する理解を深めていただけたらと思っています。

今木会長

目の不自由な方に絞ってはどうか。

中谷委員

視覚障がい者のためなら、そんなに大きいものはいらないと思う。視覚でうったえるのに、航空写真という形で展示するのか。地形を視覚障がい者の方に触っていただくなら単色でいくのが良いと思う。

吉川委員

展示全体としては、視覚障がい者への配慮は他にあるか。

業者

入口の全体案内図などは蝕知板にしますし、簡易なものです。土器パズルを考えていて、目の見える方にも理解してもらえますし、視覚障がい者の方にも全体の形を理解してもらえるので、取り入れていきたいと考えています。

吉川委員

方向性としては良い事だと思う。確かに視覚障がい者で無い人にとっては、着色された模型が分かりやすいが、障がいのある方は触っていただいても良いことにしたら、塗装ははげないのではないか。

業者

蝕知模型は、古墳の展示によく用います。単純なものが多いです。地形はないかと思ったのですが、新しい試みとして単色版バージョンになるかと思えます。

事務局

耐用年数はどれくらいでしょうか。

業者

使用状況にもよります。3、4年に1回はリペイント可能なら、触っていただく前提で着色された模型にし、コーティングをもう少し厚みをもたせるという選択肢もあります。

事務局

逆に言えば、それだけ関心を持っていただけるということであれば、頻度が違っても目の不自由な方や健常な方、視覚的なことも含めて両方いけるような形で、沢山見に来てもらうことが目的なので、着色された模型でも良いのではないかと思います。

業者

そういう考え方はあると思います。

事務局

模型上に細かい家みたいなものを表現するのですか。

業者

平面的に表現しているだけで、今回そこまでするかは、見本を作りながら考えていこうと思っています。

事務局

子供たちははがそうとするので、工夫してもらえたらと思います。

業者

模型を小さくした場合は、市街地と山塊の違いくらいにとどめる方がいいと思います。これは、家並みが少し載っていますが、そこまでは必要ないと思います。では、ほぼ着色された模型の方向性で。

事務局

今まで生駒山を触るといのはなかったもので、見せていただいたのはすごく新鮮に感じました。

今木会長

塗り替えるとしたら、どれくらいの費用がかかるのか。

業者

全面ですと、2、30万円くらいかなと思います。

今木会長 ランニングコストとして見込めるのか。

事務局 修繕は出てくると思っています。

今木会長 着色された模型にして、視覚障がい者の方用と記載し、係員が案内で触って良いことを伝えて、原則として一般の方は触らないようにしたらどうか。

事務局 指定管理のほうで、展示の案内等、ボランティアの方にしていただくという提案もいただいています。視覚障がい者の方は出来るだけついでにいただけるようにしていったらと思います。

今木会長 視覚障がい者に限定すれば、3年で塗り替えないといけないところ、10年持つかもしれない。

業者 メンテナンスや利用に関して配慮していただくという形で進めます。

事務局 工夫をしていただいて、シンプルな形でお願いします。

業者 コーティング等配慮します。

谷山委員 展示の構成はこれからか。土器ばかりが並ぶのではないか。

事務局 例であげていただいているだけです。什器や蝕知模型の関係で今のところ設計していただいています、その中身は、先生方のご意見も伺いながら決めていきます。

谷山委員 資料閲覧のところは引き出しですごく凝っているように思うが、やはり不安を感じる。通常展が若干限られるにしても、そのスペースをむしろ普通の展示コーナーにして、通常展を補う形で展示シートみたいなものを作り、こういう古文書があつてこういう事が分かる、というものを資料として用意し勉強してもらうようにすれば、十分だと思う。また、展示スペースが少なければ、入れ替えれば良いと思う。引き出しは、大学生でも割ったりすることもある。

業者 覗きケースにするという選択肢はあると思います。

事務局 Eの史料庫のところは、グラフィックと覗きケースを置くので良いでしょうか。

業者 分かりました。

吉川委員 後ろの方は、窓があるのか。

業者 はい。窓になっています。外光は入ると思います。

吉川委員 現物を引き出しの中でなく展示ケースの中に置くと、外光が入ってくるので、今度はそれが心配である。

事務局 ブラインドやカーテンはどうですか。

業者 ここは閲覧に使うことはやめて史料庫の扱いにさせていただいて、展示室北側で資料展示する形にしたらどうでしょうか。史料庫という名前は動かせないと伺っていますが、史料庫の空間としては、窓があり外光が入る点からするとあまり良くないと思います。展示室の中で資料の紹介コーナーを作るのは考えられると思います。例えば、行基の

スポット展示に、覗きケースを置いた場合を点線で書いていますが、この辺りで扱うことも出来ると思います。

- 事務局 行基のコーナーを古文書のトピックス展示に変えるということですか。
- 業者 行基について物の資料が少ないと伺っていますので、できるかと思いますが、量によると思います。行基の物があっても、展示ケースの中で扱うとか、グラフィックで大きく扱うこともできます。展示室での資料展示の工夫をするという方向性はあると思います。具体的に行基に関して展示したい資料はあるのでしょうか。無ければ、こだわらなくていいと思います。
- 事務局 史料庫の窓に関しては、遮光的な事に対する対応等、工事業者の方にも確認してみます。
- 吉川委員 資料を置くところがたくさん欲しいということで作って頂いたと思うが、史料庫の箆笥の奥はどのように使うのか。
- 事務局 桐の資料箆笥を置こうかと考えています。木製の家具で施錠できる形を考えています。そうしましたら、こちらの E の史料庫は、収蔵のみにして展示室の中に古文書のトピックス展示を持ってくる形でよろしいでしょうか。
- 谷山委員 展示スペースの関係もあると思うが、史料庫の後ろ側のスペースも桐の箆笥を置いて、収蔵にすることか。
- 事務局 そちらにするか、吉川先生がおっしゃっていたように、この部分は窓に近いので、展示室の中の大きなエアタイトケースの上側の部分（点線の部分）にトピックス展示を設け、史料庫は収蔵のみにして、史料閲覧棚を設けないようにするという事です。この点線部分のところに、覗きケースを持ってきて古文書を展示する形はどうかということになります。
- 谷山委員 E の史料閲覧のところを特別展にすることも考えられる。
- 吉川委員 確かにトピックス的な展示にするというのも考えられる。
- 事務局 行基の扱いとトピックスの扱いを交代させるということにしますか。
- 吉川委員 行基にこだわらなくて良い。トピックスはいろいろありえると思う。
- 業者 D-02 の図面を見ていただくと、窓の位置が分かると思います。ここは、当初議事堂の議員の控え室になっていたところです。建築の内装の考え方でいうと、資料を展示している半分のところに柱があって、実際に欄間が通っています。左側が畳張り、右側が長尺シート張りになっています。図面に畳の表現がないので、少し分かりにくいですが、定例の会議の協議の中で一度話しが出ていたと思います。当初は、長尺になっていたと思いますが。
- 事務局 史料庫はそのまま良いですか。
- 吉川委員 今の箆笥を取って後ろにパネルを貼れば、トピックス展示に使えると思う。
- 業者 パーテーションのパネルをこちらでも使いたいということですか。ちなみに備品の方でもパネルの予算を考えていると思うのですが、展示で納める台数はこれだけになり

ます。研修室の方で使う予定のパネルをこちらで使うことは出来ると思います。覗きケースは、収蔵の史料閲覧棚をやめれば、その代替として可能だと思います。

事務局 古文書の展示はいかかがでしょうか。古文書の分が、今の点線の部分にくると思われ
ます。

業者 史料閲覧棚をやめれば、覗きケース 1 台という選択肢はあると思います。

事務局 入れ替えということですか。

業者 史料閲覧のコーナーにそのまま使うのか、あるいは展示室で使うのかという選択肢に
なると思います。

事務局 2 台いるとしたら、1 台は備品で購入ということですか。

業者 そうなります。

事務局 史料閲覧のところはトピックスのコーナーにして、展示室の中のエアタイトケースの
上側の点線の部分に古文書を展示するというにさせていただきます。

業者 この場で決めていただくことではないのですが、体験のアイテムとして、土器パズル
を提案していて、もし作るという方向性ならば、どのような土器にするかという選択
をしていただければと思っています。

業者 工程表の概略説明

(3) 開館記念シンポジウム「生駒の歴史と文化をさぐるⅢ」仮題「祈りと生駒山」について

事務局 資料 2 企画案に基づき説明

中谷委員 講演内容は、先生方に決めていただけたらいいと思います。私に関われるのは、地藏
信仰かなと思います。

谷山委員 前回も 2 講演して、その後対談の形が良かったと思うので、そういう意味で言うと、
二人講演が良いのではないかな。やっぱり開館するので、目玉のひとつは行基になる
と思う。行基と中世の話でいくのか、行基と公慶の選択があると思う。もう 1 年先の
ことを考えると、1 年目を古代中世で、次の年を近世の公慶でいくと 2 年分まとまる
かと思う。そうすると、祈りと生駒山の題名を変えないといけない。

藤澤副会長 その範囲を一つにするか二つにするかで、いずれにしても、古代は出だしなので必要
だと思う。行基の実体のところを古代でして、行基信仰のところを近世でしたらど
うかと思う。

吉川委員 確かにテーマは工夫が必要だと思う。皆さんの意見で良いと思う。

今木会長 古代で行基の実体、中世で行基信仰のところでもいいか。

吉川委員 行基といろいろな弟子がいて、その中の話で生駒の話ができると思う。

事務局 対談のテーマをどうしましょう。次回の会議で話しましょうか。

今木会長 大分先なので、次回、テーマについて決めましょう。

吉川委員 シンポジウムを生駒小学校でできないか。終わったら、生駒ふるさとミュージアムに皆に入ってもらったら、入場者数も増えると思うが。

事務局 時間的にも人数的にも厳しいと思います。

(4) 生駒ふるさとミュージアム指定管理者の指定について

事務局 概要説明

吉川委員 指定管理者の業者を調べたところ、考古学が中心のようだ。生駒ふるさとミュージアムは、古文書・民具が中心なので、我々がサポートしていかないといけないと感じた。

藤澤副会長 指定管理をしていただきながら、その中で生駒の資料もしっかり集めて、収蔵していただきたい。展示資料もどんどん収蔵してほしい。また、いろいろな提案をしてほしい。

谷山委員 指定管理の期間は、どうなっているか。

事務局 募集に対しては、改修工事の進捗状況がありましたので、4年と4ヶ月での条件で提示させていただきました。

谷山委員 将来的に指定管理者が変わる可能性があるということは、この事業の継承性・一貫性が気になる。吉川先生同様、私も指定管理者について調べたが、埋蔵文化財が中心で歴史についての時代等を分かる方は本当に居るのか懸念がある。また、やはり学芸員の方が腰を据えて生駒について調べ、それをふまえて長期的な全貌を見据えながら活動していくということが、今の制度では先行きが見えないので、不安を感じる。やはり、こういう形でスタートさせるなら、途中で終わるのではなく、指定管理者にも10年くらい指定管理をするつもりで本気で取り組んでほしい。4年で次の業者が変わったら、またそこからのスタートになってしまうだろうし、次への継続性を配慮してほしい。今教育委員会でされている調査等の関連で言うと、指定管理業務の資料の調査・整理（学術的業務）があるが、それとの関わりはどうか。教育委員会で調べてきている事業と指定管理者が行おうとしている事業との関連性はどうか。指定管理者においては、展示に関わることだけになるのか。指定管理の場合でも、市からメンバーが加わるということもありえると思うが、どうか。

川口部長 原則として、業務は指定管理者に任せます。中の業務によって、市の職員がつくことはあると思います。まだ立ち上げただけですので、進行については、当分市が関わっていきます。指定管理の期間は29年3月までで、期限がきましたら、この業者の今までの実績も考慮して新たに業者選考を実施します。変わることもあるが、このままこの業者になることもあります。

事務局 今回は立ち上げですので、4年という短いスパンになっていますが、こういう業務は長いスパンでないと難しいとも思いますので、10年等長期間の指定管理も次回からは考えていきたいと思っています。

谷山委員 学芸員についてもバランスを欠いているように感じるので、もし可能であれば資料館をいろいろカバーしていけるように人的にも配慮していただけたらと思う。

川口部長 指定管理者のほうでも、この資料館に見合う学芸員を新たに雇用するというのも検

討しているようです。

- 吉川委員 出来れば生駒市で雇用してもらえると一番良い。
- 事務局 今度指定管理者との意見交換会を催したいと思っていますので、直接意見を交換していただきたいと思っています。
- 谷山委員 生駒市で学芸員を雇用していただけたら継続性を考えても良いと思う。業者の継続にもつながると思う。
- 中谷委員 この指定管理者は、埋蔵文化財が中心な方か。
- 事務局 指定管理者の代表は、埋蔵文化財の発掘技師で、東大阪市の職員だったということです。古文書の調査も委託業務でされていたり、民具の専門の職員も最近入られて、民具の修理等の業務も委託でされていると聞いています。今いらっしゃる社員さんだけでは生駒ふるさとミュージアムの運営までまかないきれないということで、今度新しくその分野に見合った学芸員を採用するというで聞いています。
- 中谷委員 指定管理者には前向きに考えていただいて、生駒のことも聞いてもらわないといけないので、指定管理者との意見交換会は、先生方の意見を反映していただくためにも、絶対必要だと思う。指定管理者の方には頑張っていただけるように応援したいと思う。
- 今木会長 代表者もそうだが、事業者が手がけてきたことがほとんど埋蔵文化財の調査を中心とした事業ということで、指定管理者のプロポーザル審査委員会の時になぜ応募したのかという質問もしたが、私の接している人だけかもしれないが、考古学の人には、よく言えば独特のアイデンティティを持っているが、悪く言うと他の分野に関して、非常に柔軟性が乏しいと感じる。ですから、生駒ふるさとミュージアムの設立の主旨・基本からすると、そういった分野に適正な方を開館までに確保してもらい、我々の意見も聞いてもらうということを不可欠な条件として入れていただきたい。
- 事務局 おっしゃっていただいた業務については、確かに実績を見ていると考古関係が中心で一部調査等を頑張っておられるようです。市の条件で管理業務特記仕様のところに学芸員業務を記載してしまして、その中に、展示あるいは資料収集・調査等を載せていますので、その点で配置される職員さんに対して何かあれば、こちらから指導していく立場です。仕様に基づいた適正な人員配置をするように強く求めていきたいと考えています。
- 事務局 先程お話をさせていただきました意見交換会ですが、出来れば日程調整をこの場でさせていただきたいのですが。
- 事務局 第1希望5月13日月曜日午前中、第2希望5月20日月曜日1時ごろということで、指定管理者の方に確認してみたいと思います。

(5) 平成24年度事業報告及び平成25年度事業計画

- 事務局 平成24年度事業報告及び平成25年度事業計画説明
- 今木会長 前にも言ったと思うが、寄附金について、今は市内の個人や団体からだと思うが、企業に対して働きかけをしたらどうか。経済状況は厳しいが、私の経験からすると、文化事業に強い関心をお持ちの業者は快く応じてくださると思う。例えば、大阪ガスや他の企業にも働きかけたらと思う。

- 事務局 具体的には市内の商工会議所などに声をかけさせていただいています。初年度はいくらかのご寄附をしていただいています。委員の皆様でご紹介していただける業者がございましたら、教えていただけたらと思いますので、よろしくお願ひします。
- 今木会長 市の指定文化財は2件か。
- 事務局 3件です。
- 今木会長 新しい年度で、そういう候補はあがっているのか。
- 事務局 資料調査の方をさせていただきたいのですが、現在、生駒ふるさとミュージアム開設で一杯の状況で、手が回らない状態です。
- 今木会長 そちらの方がひと段落したら、お願ひします。
- 事務局 先程事業報告のほうでも説明させていただきました「いこまふるさと風景」のクリアホルダーですが、100円で販売してしまして、これも歴史文化基金の収益金のひとつとして作らせていただきました。ハンドブックや文化財マップなどと同じように、この収益は基金の中に入れてさせていただきます。このクリアホルダーは、画家で生駒の俵口にお住まいの平本さんがお描きになった昔の遊びの生駒の風景と、後ろは生駒市のイメージキャラクターたけまるくんになっております。100円という安価な値段でもありますので、もし粗品ですとか、団体さんで何かお使いしていただけたら、ご用命いただけたらと思います。
- 吉川委員 展示の件にもどるが、原稿作成が6~7月になっているが、生駒の歴史のところの構成は決まっているのか。
- 事務局 先生と個別に話をさせていただけたらと思っています。
- 今木会長 閉会あいさつ

閉 会

以上